

「第2次やまなし食の安全・安心行動計画」[最終年度]達成状況

1 行動計画の主な目標の最終年度末の達成状況について

目標の区分: 三つの推進方向とこれらを推進するための体制整備	指標数	達成 (100%以上)	ほぼ達成 (90%以上 100%未満)	未達成 (90%未満)
(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保	23	16 (70%)	4 (17%)	3 (13%)
(2) 食品に関する正確な情報の提供	10	6 (60%)	2 (20%)	2 (20%)
(3) 消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立	8	5 (63%)	3 (38%)	0 (0%)
(4) 総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備	4	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)
	[うち再掲分]	[2]	[1]	[1]
計	45[2]	30[1] (67%)	10 [1] (22%)	5 (11%)

2 分野別の状況

(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保

指標数: 23 達成(達成率100%以上) : 16
 ほぼ達成(達成率90%以上100%未満) : 4
 未達成(達成率90%未満) : 3

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末 目標	H19年度末	H20年度末		H21年度末		H22年度末		H23年度末		5ヶ年の 平均値	達成率 (%)
					実績	実績	H20のみ 実績	実績	H21のみ 実績	実績	H22のみ 実績	実績	H23のみ 実績		
農産物(林産物を含む)の安全性の確保	農業取締法の遵守	農業販売者への計画的な立入検査の実施件数	88件/年	計画期間中延べ500件	93	181	88	284	103	465	181	583	118		116.6
		農業管理指導士延べ認定者数	647人	1,200人	894	959	65	1,017	58	1,105	88	1,168	63		97.3
		農業適正使用アドバイザー延べ認定者数	153人	450人	307	361	54	424	63	524	100	563	39		125.1
		特用林産物の栽培技術に関する講習会の開催	4回/年	計画期間中延べ20回	4	8	4	12	4	16	4	20	4		100
畜産物の安全性の確保	飼料安全法の遵守	違法飼料給与農家割合	0%	0%	0	0		0		0		0		0	達成
		飼料の安全性について啓発指導した牛飼養農家戸数割合	100%	100%	100	100		100		100		100		100	達成
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理手法の導入	HACCP方式のデータの収集検体数(特定疾病の実態調査)	578検体	2,000検体	1,589	2,579		3,263		2,720		2,304		2491	124.6
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の推進	エコファーマー認定数	6,513人	7,000人	7,475	7,558	83	7,735	177	7,414	-321	7,522	108		107.5
	甲斐のこだわり環境農産物認証事業の推進	認証基準策定品目の数	32品目	40品目	36	37	1	38	1	40	2	43	3		107.5
食品製造施設等における安全性の確保	食品製造施設等の監視指導	食品衛生監視指導計画に基づく監視率(監視指導実施施設率)	100%	100%	103	101		96		90		117		101	達成
	食中毒防止対策	人口10万人あたりの食中毒患者発生者数	28人	22人	58	31		18		26		28		32	未達成

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末 目標	H19年度末	H20年度末		H21年度末		H22年度末		H23年度末		5ヶ年の 平均値	達成率 (%)
					実績	実績	H20のみ 実績	実績	H21のみ 実績	実績	H22のみ 実績	実績	H23のみ 実績		
給食施設における安全性の確保	特定給食施設等に対する監視指導の実施	給食施設別巡回指導実施施設割合	59.4%	65%	49.3	41		46.1		44.6		43		44.8	68.9
	学校給食における安全性の確保	学校給食施設巡回指導校数	32校/年	計画期間中延べ175校	41	74	33	112	38	150	38	160	10		91.4
食肉処理段階における安全性の確保	と畜検査の実施	と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数	牛枝肉 67頭	計画期間中延べ牛枝肉 600頭	150	313	163	476	163	603	127	751	148	125.2	
		豚枝肉 83頭	計画期間中延べ豚枝肉 600頭	50	108	58	188	80	213	25	263	50	43.8		
	食鳥検査の実施	食鳥処理施設で処理された鶏の体の微生物検査を実施した羽数	40羽	計画期間中延べ300羽	78	130	52	199	69	261	62	345	84	115.0	
流通・販売段階における安全性の確保	農畜水産物の農薬、抗菌性物質等の残留検査	残留農薬の収去検査結果の不適正数	0件	0件	0	0		0		0		0		0	達成
		残留動物用医薬品の収去検査結果の不適正数	0件	0件	0	0		0		0		0		0	達成
流通・販売段階における安全性の確保	HACCPシステムの考え方を取り入れた自主管理体制の普及	営業者、従事者の受講者数	7,622人/年	計画期間中延べ50,000人	9,690	21,122	11,432	31,087	9,965	40,461	9,374	49,393	8,932	98.8	
消費段階における安全性の確保	県民への食品衛生知識の普及	食品衛生講習会等への参加人数	965人/年	計画期間中延べ5,000人	1,015	2,291	1,276	3,383	1,092	4,213	830	5,196	983	103.9	
	きのご鑑定会の実施	きのご鑑定会開催回数	15回/年	計画期間中延べ75回	17	34	17	51	17	68	17	83	15	110.7	
輸入食品の安全性の確保	輸入食品の監視指導及び収去検査の実施	食品衛生監視指導計画に基づく監視・検査実施率	100%	100%	120	101		92		100		100		103	達成
畜産物の生産のための調査研究の推進	薬剤耐性菌発現状況の把握	薬剤耐性菌の検査件数	24件/年	計画期間中延べ120件	48	120	72	144	24	216	72	240	24	200.0	
魚苗供給・試験指導の充実	養殖魚の防疫対策	養殖業者への巡回実施率	80%	100%	100	100		100		100		97.2		99.4	ほぼ達成

(2)食品に関する正確な情報の提供

指標数: 10 達成(達成率100%以上) : 6
 ほぼ達成(達成率90%以上100%未満) : 2
 未達成(達成率90%未満) : 2

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末 目標	H19年度末		H20年度末		H21年度末		H22年度末		H23年度末		5ヶ年の 平均値	達成率 (%)
					実績	実績	H20のみ 実績	実績	H21のみ 実績	実績	H22のみ 実績	実績	H23のみ 実績			
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	広域 100店舗 地域 200店舗	計画期間中 500店 1,000店舗	96	188	92	283	95	379	96	470	91	94.0		
		食品適正表示実施率100% の店舗割合	53%	80%以上	51	61.9	66.3	80.2	90.1	93.1	112.6					
トレーサビリティシステム の整備	トレーサビリティシステムの利 用促進	青果ネットカタログ等による 生産情報等の提供数	52件	150件	115	132	17	135	3	149	14	156	7	104.0		
	ホームページによる県産牛肉 の生産履歴の公開	ホームページのアクセス数	約7,000件/年	10,000件/年	11,000	10,000	8,800	8,200	5,000	8,600	86.0					
食品の安全性に関する 情報提供	消費者等への情報提供	県のホームページアクセス 件数	約7,000件/年	10,000件/年	11,403	14,287	13,904	15,473	9,173	12,848	128.5					
食品の安全性に関する 相談の受付、苦情の対 応	食品安全110番の設置、運営	食品安全110番による相談 対応件数	82件/年	計画期間中 延べ 450件	177	342	165	593	251	770	177	883	113	196.2		
	イベント開催時の相談等への 対応	相談対応件数	7件/年	計画期間中 延べ 100件	37	62	25	92	30	118	26	143	25	143.0		
食の安全・安心につい て普及・啓発	リスクコミュニケーションの推進	意見交換会等の参加者数	480人/年	600人/年	1,080	986	865	845	870	929	154.9					
	研修会の開催や勉強会等への 講師派遣	研修会等開催回数	14回/年	計画期間中 延べ 150回	33	63	30	100	37	119	19	136	17	90.7		
	栄養士、調理師、食生活改善 推進員等に対する研修会の実 施	研修会への参加者数	4,939人/年	5,000人/年	7,647	3,319	3,865	3,689	3,492	4402.4	88.0					

(3)消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

指標数：8 達成(達成率100%以上) : 5
 ほぼ達成(達成率90%以上100%未満) : 3
 未達成(達成率90%未満) : 0

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末 目標	H19年度末	H20年度末		H21年度末		H22年度末		H23年度末		5ヶ年の 平均値	達成率 (%)
					実績	実績	H20のみ 実績	実績	H21のみ 実績	実績	H22のみ 実績	実績	H23のみ 実績		
消費者、生産者、事業者との交流促進	児童・生徒・先生等の牧場等への視察の実施	牧場等視察学校児童・生徒数累計	4337人/年	7000人/年	4,745	4,885		6,100		11,000		11,917		7729	110.4
地産地消の推進	地元農林畜水産物の地産地消の推進	地産地消サポーター数	1022人	1250人	1,135	1,180	45	1,230	50	1,305	75	1,363	58		109.0
	地産地消県民運動の推進	直売所の登録農家数	延べ 9412人	延べ 10700人	9,573	10,211	638	11,249	1,038	12,584	1,335	13,018	434		121.7
	学校給食等における地元の農林畜産物の活用	学校給食への牛乳の年間供給本数(児童生徒1人当たり)	児童生徒1人 当たり194本/年	児童生徒1人 当たり194本/年	194	194		191		189		189		191	98.7
		学校給食における県産食材の使用割合(重量ベース)	31.7%	35%以上	33.70	34.1		34.1		35.3		35.3			100.9
食育の推進	農業体験学習の推進	農畜水産物生産現場での農業体験の実施	180人/年	250人/年	323	378		348		134		157		268	107.2
	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	1950人/年	計画期間中 延べ 10000人	2,305	4,326	2,021	6,165	1,839	8,026	1,861	9,965	1939		99.7
	食育実践地域活動支援事業	食育ボランティアの育成数	4694人	5200人	5,260	5,070	-190	5,170	100	5,182	12	5,182	0		99.4

(4)総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

指標数：4[2] 達成(達成率100%以上) : 3[1]
 []内は再掲指標 ほぼ達成(達成率90%以上100%未満) : 1[1]
 未達成(達成率90%未満) : 0

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末 目標	H19年度末	H20年度末		H21年度末		H22年度末		H23年度末		5ヶ年の 平均値	達成率 (%)
					実績	実績	H20のみ 実績	実績	H21のみ 実績	実績	H22のみ 実績	実績	H23のみ 実績		
施策推進のための 情報・意見交換の充 実	リスクコミュニケーションの推進(再掲)	意見交換会等の参加者数	480人/年	600人/年	1,080	986		865		845		870		929	154.9
	食の安全・食育実践活動	推進大会参加者数	200人/年	250人/年	250	270		250		350		200		264	105.6
市町村との連携、情 報・意見交換	市町村ネットワークの構築	市町村担当者会議の開催	—	計画期間中 延べ 10回	1	3	2	6	3	10	4	15	5		150.0
NPOや食育ボラン ティア、自主活動組 織との協働	食育実践地域活動支援事業 (再掲)	食育ボランティアの育成数	4,694人	5,200人	5,260	5,070	-190	5,170	100	5,182	12	5,182	0		99.4

3 未達成の目標について

1 給食施設別巡回指導実施施設割合

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績					H23達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	H23	
59.4%	65%	49%	41%	46.1%	44.6%	43.0%	68.9%

※未達成の理由
研修を行う保健所が平成18年度より組織編成により減少したため、指導体制が縮小し指導回数が減少している。また、監視指導数については、各保健所ごと2～3年に1回行っているため。

2 人口10万人あたりの食中毒患者発生数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績					H23達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	H23	
28人	22人	58人	31人	18人	26人	28人	未達成

※未達成の理由及び今後の対応
H23は大量調理施設において食中毒が発生しており、1事件の患者発生数が多くなっている。今後は、監視、講習会を通じ、食中毒の発生防止の普及等取り組みを強化していく。

3 と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績					H23達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	H23	
牛枝肉 67頭	計画期間中延べ牛枝肉 600頭	150頭	313頭	476頭	603頭	751頭	125.2
豚枝肉 83頭	豚枝肉 600頭	50頭	108頭	188頭	213頭	263頭	43.8

※未達成の理由
豚枝肉は、検査を実施したところ病原性細菌があまり検出されていないため、牛枝肉の検査に重点を置き多く実施している。今後も、状況に応じて計画的に実施していく。

4 ホームページによる県産牛肉の生産履歴の公開(ホームページのアクセス数)

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績					H23達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	H23	
約7000件/年	10000件/年	11,000	10,000	8,800	8,200	5,000	86.0

※未達成の理由
現在は、BSE問題等発生当時と比較して牛肉に対する消費者の信頼が得られていることがアクセス回数減少の理由と考えられる。また、平成23年度については、放射性物質検査等に関する情報にアクセスする消費者が多くなったことも理由の一つと考えられる。

5 栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会への参加者数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績					H23達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	H23	
4,939人/年	5,000人/年	3,910人	3,319人	3,865人	3,689人	3,492人	88.0

※未達成の理由及び今後の対応
研修を行う保健所が平成18年度より組織編成により減少したため。また、研修対象者となる調理師等は毎年人数が変動するため。